

# 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟における U-Smile事業等の活動

2025年7月31日（木）



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

# 目次



子どもたちが  
夢と希望を抱ける社会へ。

## U-Smile

みんなであつなぐ子ども応援プログラム

日本における子どもの貧困と  
日本ユネスコ協会連盟の支援活動

地域協働型包括教育支援事業  
『U-Smile ～みんなであつなぐ子ども応援プログラム～』

公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟 2

© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)

- 目的：困難な状況におかれた子どもたちを、地域協働かつ包括的に支援し、全ての子どもたちが夢や希望をもてる社会となることを目指す
- 対象：相対的貧困等さまざまな理由で困難な状況に置かれた子ども
- 内容：地域協働型包括教育支援
- 2022年のテストランを経て、2023年より正式事業化。現在11地域で活動を展開。



ユネスコスクール  
SDGsアシストプロジェクト

ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト

公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟 31

© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)

- 目的：青少年へのユネスコ活動普及
- 内容：「持続可能な開発目標(SDGs)」の掲げる諸目標達成にむけ、ユネスコスクールが取り組む活動費用を助成
- 対象：全国のユネスコスクール  
※公募 80校/年
- 協力：株式会社三菱UFJ銀行
- 後援：日本ユネスコ国内委員会

子どもたちが  
夢と希望を抱ける社会へ。

# U-Smile

みんなでつなぐ子ども応援プログラム



© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)

## 日本における子どもの貧困と 日本ユネスコ協会連盟の支援活動

地域協働型包括教育支援事業

『U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～』



公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟

# 1. 日本ユネスコ協会連盟について

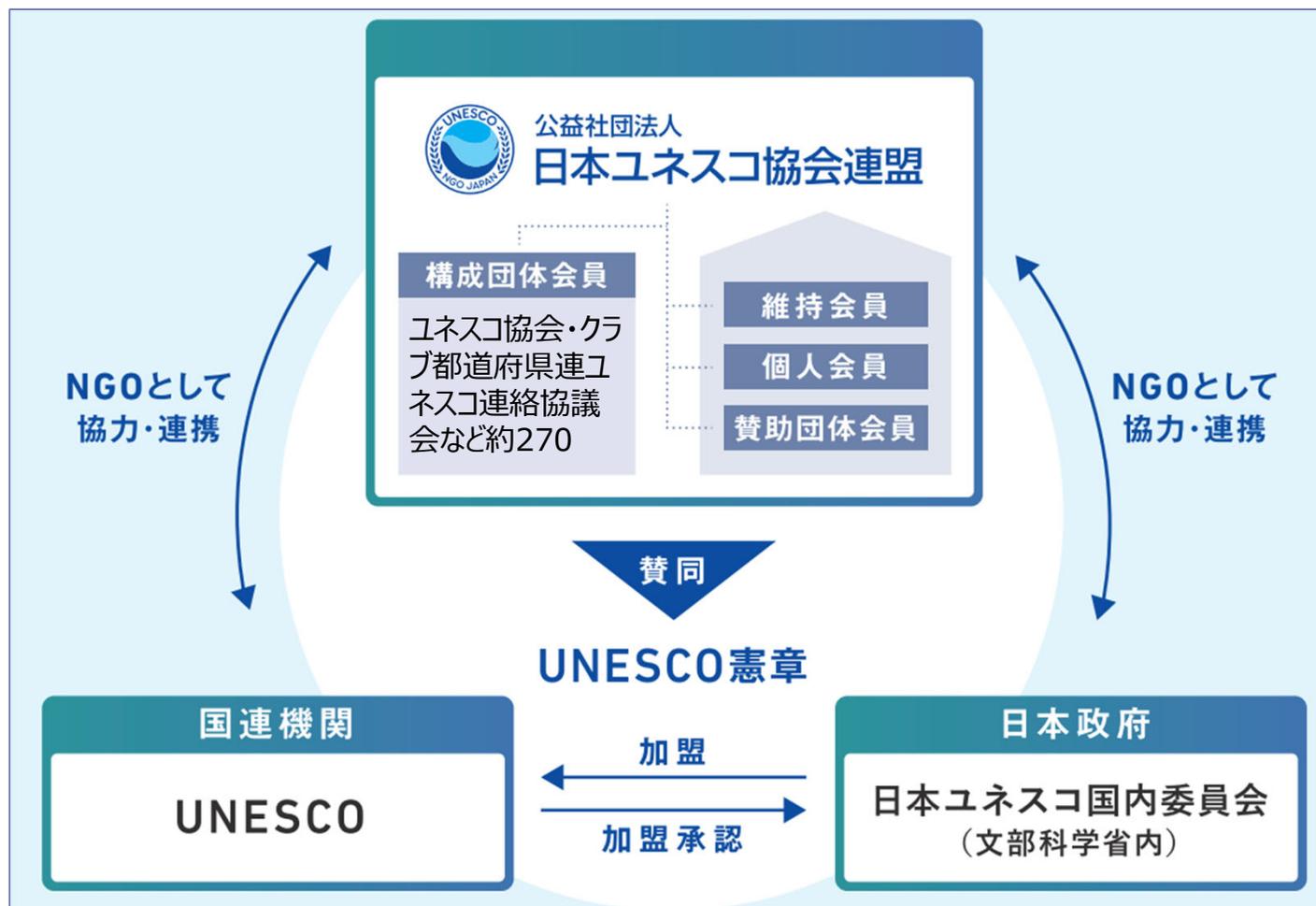
## (1) 組織概要

- ◆ 民間のユネスコ団体（NGO）として、1948年に創設（創立75年）
- ◆ ユネスコ憲章の理念に基づき、教育や文化の普及・振興を通じたさまざまな活動を国内外で実施
- ◆ UNESCO（国連機関）や日本ユネスコ国内委員会（文部科学省内）と連携・協力

昭和二十七年法律第二百七号  
ユネスコ活動に関する法律（抜粋）

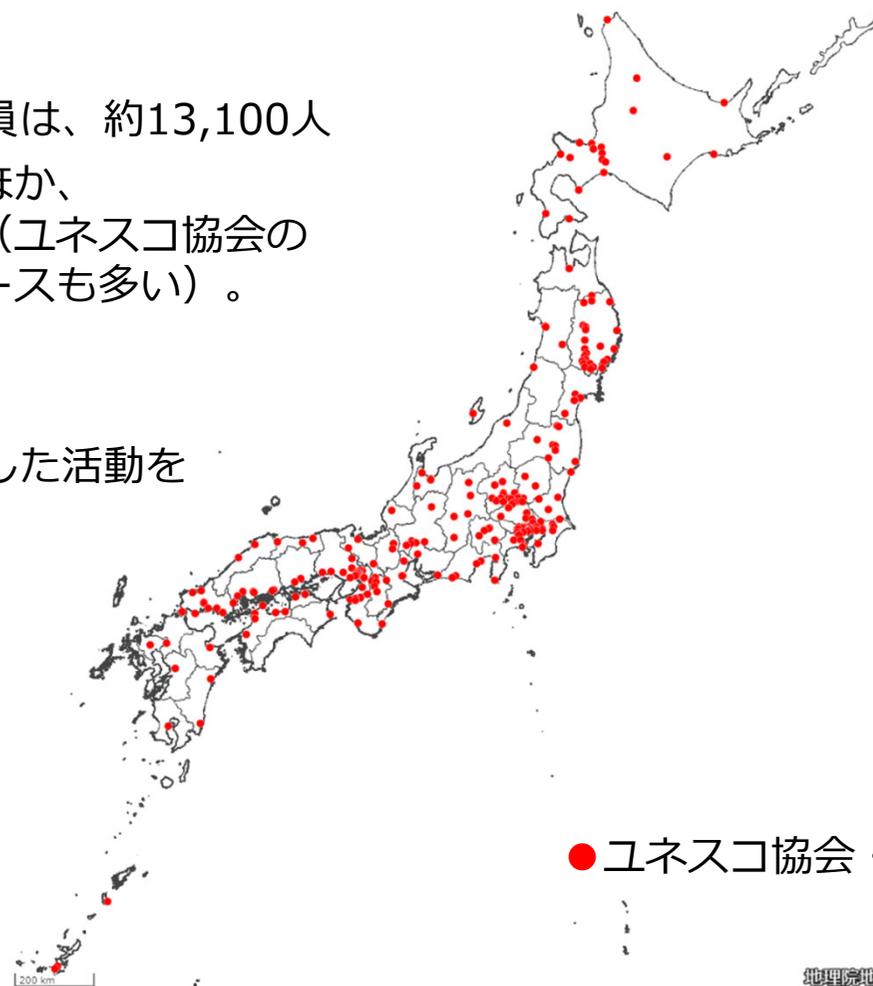
### 第四条

国又は地方公共団体は、第一条の目標を達成するため、自らユネスコ活動を行うとともに、必要があると認めるときは、民間のユネスコ活動に対し助言を与え、及びこれに協力するものとする。



# 1. (2) ユネスコ活動を支えるユネスコ協会・クラブ

- ◆ ユネスコ協会・クラブは、全国に約270
- ◆ ユネスコ協会・クラブ会員に所属する会員は、約13,100人
  - 学生、社会人、リタイアメント世代のほか、  
教員や教育委員会の教育関係者も多数（ユネスコ協会の事務局が教育委員会に置かれているケースも多い）。
  - 学校とも有機的な連携をとって活動  
※地元の企業も団体会員
- ◆ 多様な担い手が地域のために地域に根差した活動を  
協力、連携しながら推進



● ユネスコ協会・クラブの所在地

# 1. (3) 日本ユネスコ協会連盟の教育支援活動

## 日本ユネスコ協会連盟の教育支援活動

日本ユネスコ協会連盟は、教育こそが人々の心の中に平和のとりでを築き、平和で公正、活力溢れる社会を作る原動力になると考えています。そして教育は貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが夢や希望を持って自立し、人や社会と積極的に関わり、人生を主体的に生き抜く力を養います。

今、日本においても相対的貧困の状況に置かれ、十分な教育や体験の機会を得られない子どもたちが9人に1人、200万人以上います。また、様々な社会変動の中で多くの地域において子どもたちと地域の繋がりが薄れ、地域の大人が子どもたちを見守り、育むような交流の機会も減少しています。

日本ユネスコ協会連盟は「すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会へ」のビジョンを掲げ、各国・各地域と手を携えながら、子どもたちへの様々な教育支援活動（居場所・学習・体験・災害支援等）を推進しています。

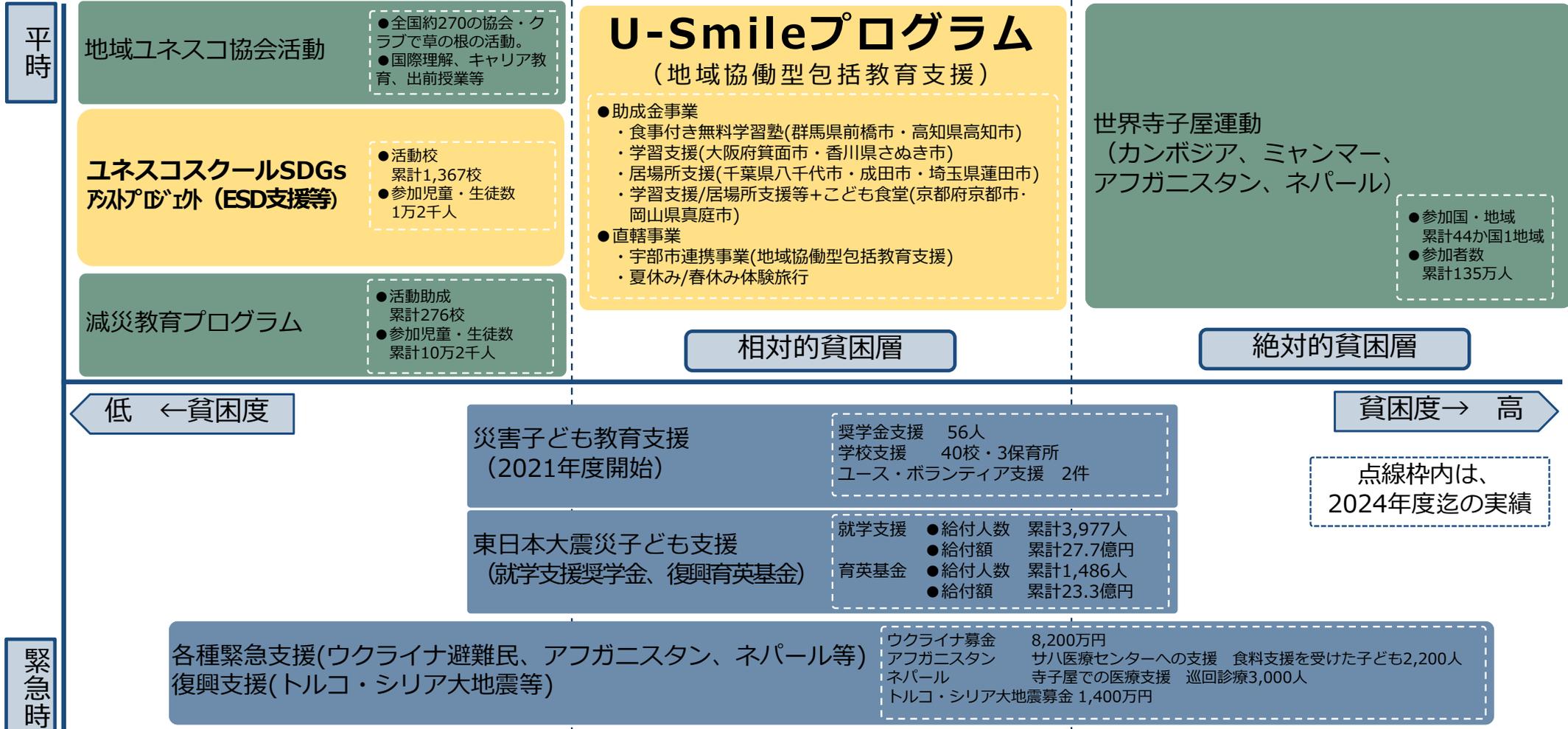
© 2024 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)  
本資料の転載、複製、改変等は禁じます

## (参考) ユネスコ憲章前文

- ◆ 戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。
- ◆ ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、・・・無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。
- ◆ 文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つ（すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられるよう）すべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。



# 1. (4) 教育支援活動の全体像



## 2. 日本における子どもの貧困

### (1) 「絶対的貧困」「相対的貧困」

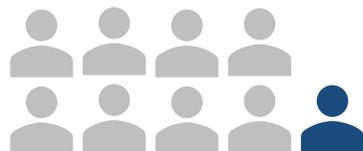
- ◆ 貧困には、「絶対的貧困」と「相対的貧困」がある
- ◆ 日本で「子どもの貧困」を示すときには、一般的に、「相対的貧困」を指す

	相対的貧困	絶対的貧困
状態	<ul style="list-style-type: none"><li>その国の中の生活水準に対して、適正な水準での生活（普通の生活）を送ることが困難な状態</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>人間としての最低限の生存条件を欠くような状態</li></ul>
所在	<ul style="list-style-type: none"><li>日本などの先進国</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アフリカやアジアの途上国</li></ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"><li>お腹いっぱい食べることができない</li><li>勉強したくても勉強する場所がない</li><li>塾、音楽やスポーツなどの習いごとに通うことができない</li><li>大学に進みたくても、経済的理由で就職する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>食べるものがない</li><li>住む場所にも困っている</li></ul>

## 2. (2) 日本における相対的貧困の状況

◆ 厚生労働省が2023年7月4日に公表した国民生活基礎調査

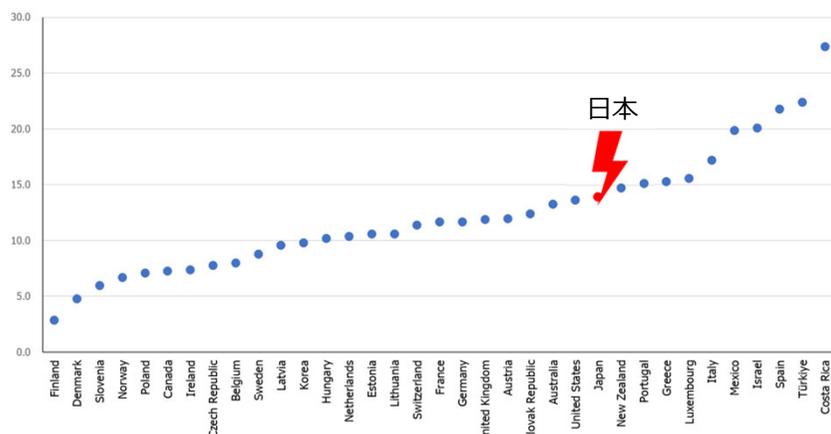
**日本の子どもの貧困率  
11.5% (2021年)  
9人に1人が相対的貧困**



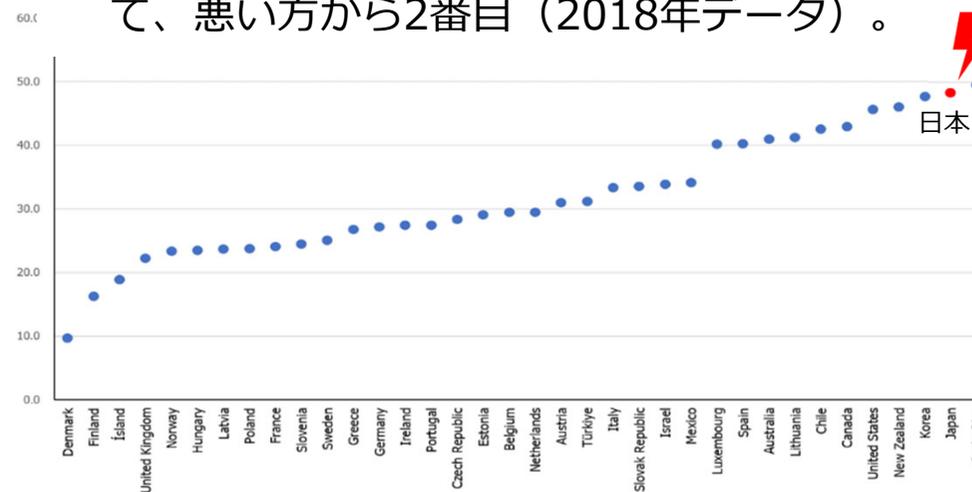
**ひとり親世帯の貧困率  
44.5% (2021年)  
2人に1人が相対的貧困**



◆ OECD (経済協力開発機構) 加盟35か国において、悪い方から11番目とかなり高い (2018年データ)



◆ OECD (経済協力開発機構) 加盟36か国において、悪い方から2番目 (2018年データ)。



OECD (2023), Poverty rate (indicator). doi: 10.1787/0fe1315d-en (Accessed on 06 October 2023)により作成  
© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUJ)

## 2. (3) 相対的な貧困における暮らし（ひとり親世帯）

◆ 相対的貧困とは、等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態

現在、親子2人世帯（ひとり親世帯）の場合では、年間 約175万円

収入  
1か月約14万円

家計における平均支出額※  
1か月約12万円



余力  
1か月約2万円

※母子家庭（子18歳未満）における食料、  
住居、光熱・水道、交通・通信の合計  
データ出典：「家計調査2022年6月」（総務省統計局）



	給与所得者 平均給与 (年)
正規雇用	495万円
非正規雇用	176万円
差額	319万円

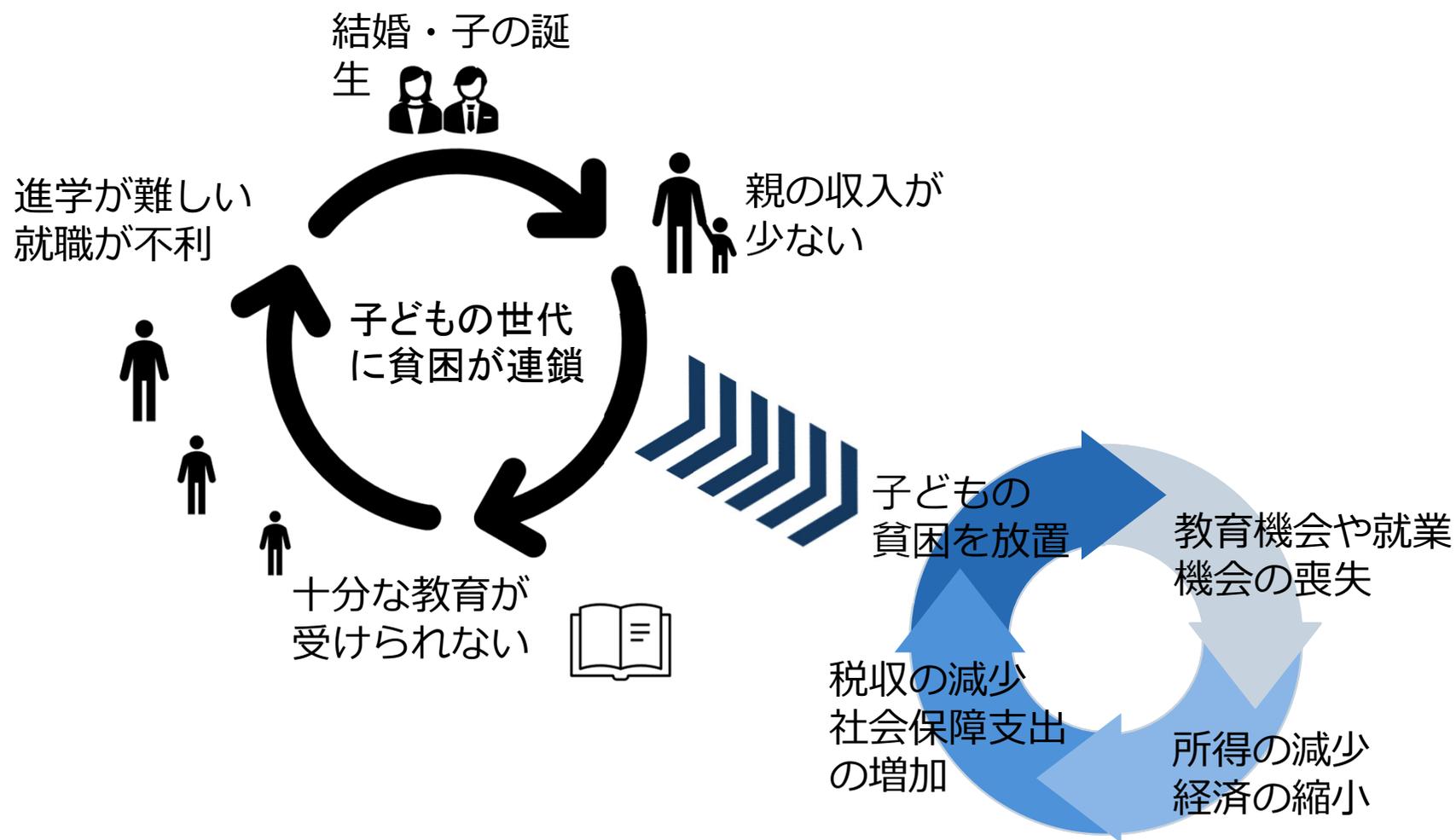
教養・娯楽・交際・生活用品費を捻出  
～「当たり前」に生きることの難しさ、教育費用の工面も困難～



データ出典：国民生活基礎調査  
民間給与実態統計調査（R2分）

© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)

## 2. (4) 子どもの貧困を放置するとどうなるのか



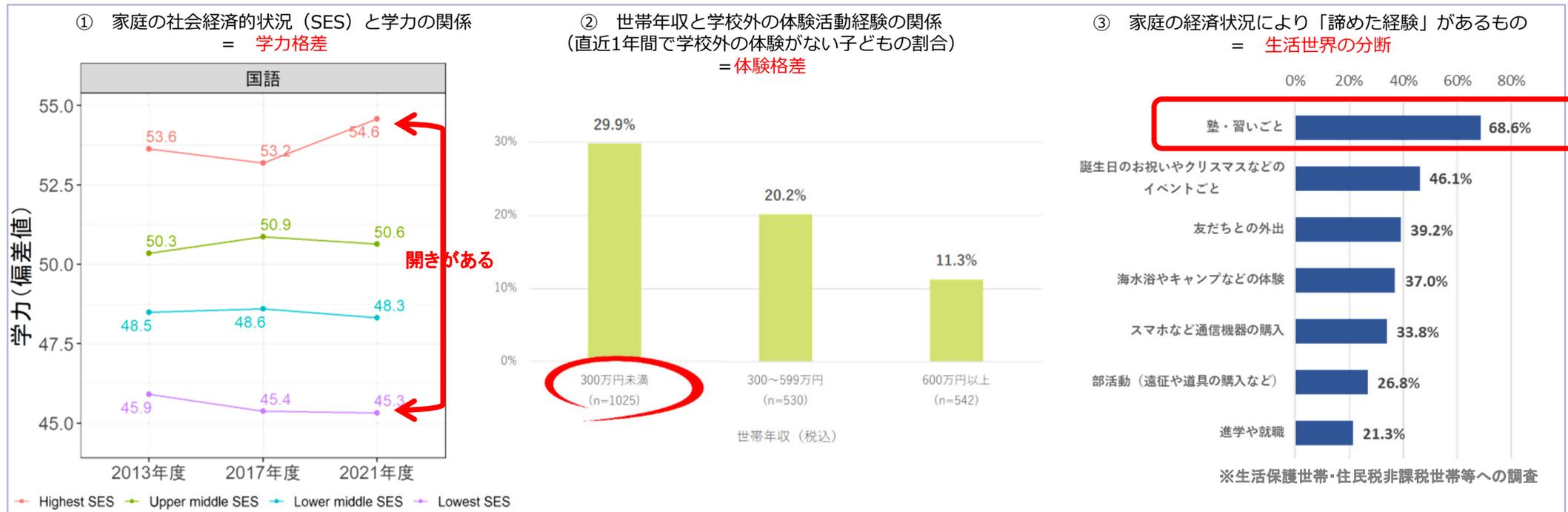
## 2. (5) 子どもの貧困の放置での社会損失

- ◆ 子どもの貧困対策によって、子どもの教育機会が確保された「改善シナリオ」と「現状放置シナリオ」の比較
- ◆ 子どもの貧困を放置すると所得が42.9兆円失われ、財政収入が15.9兆円失われることになる

	所得	税・社会保障の 財政収入
改善 シナリオ①	374.4兆円	99.9兆円
現状放置 シナリオ②	331.5兆円	83.9兆円
社会的損失 ③ = ① - ②	42.9兆円	15.9兆円

- 貧困の子ども：約260万人。生活保護世帯・児童養護施設・ひとり親家庭に属する子どもと定義
- 所得：一生涯で得る所得金額
- 税・社会保障の財政収入：一生涯で政府に収める税・社会保険料負担額から、政府から受け取る社会保障給付額を差し引いた金額

## 2. (6) 経済的状況と学力・体験の関係



出典：左：福岡教育大学 (2023) 「令和 4 年度文部科学省委託事業『学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究』研究成果報告書」より

中央：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン (2023) 「子どもの『体験格差』実態調査 最終報告書」より

右：公益財団法人あすのば (2024) 「あすのば給付金受給者6 千人調査 中間報告」より一部抜粋し作成

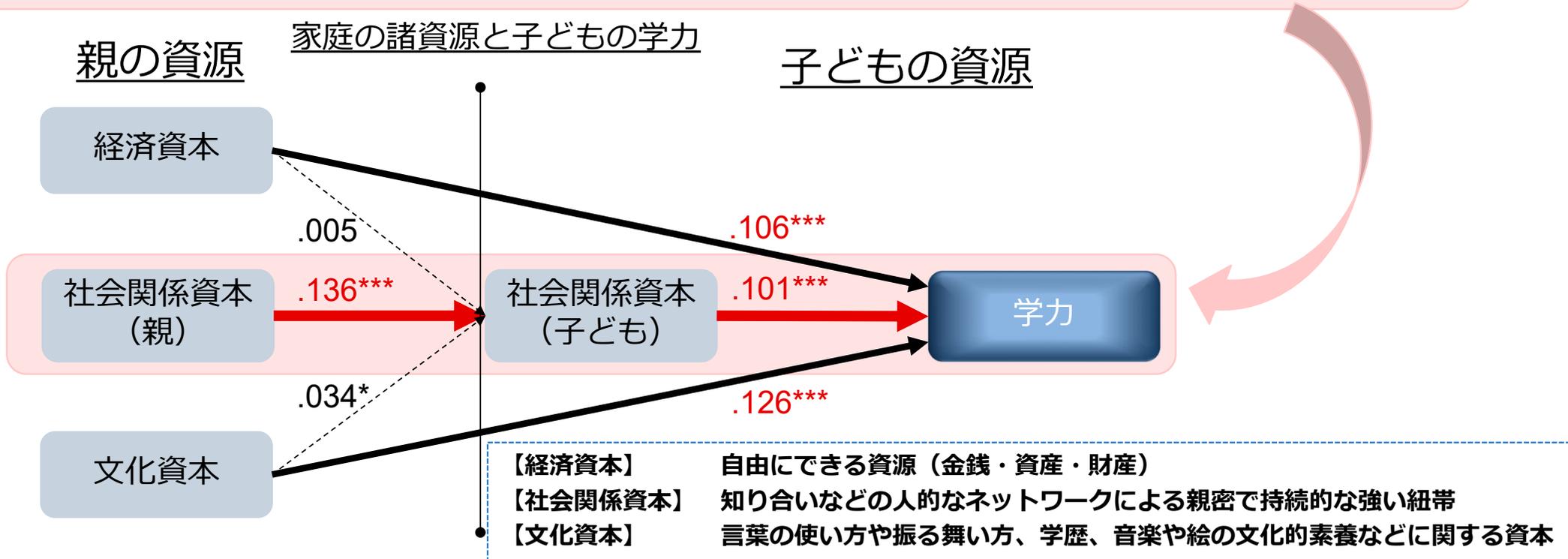
注釈：左：SES (家庭の社会的経済的状況) は、父母の教育年数および世帯年収を用いて作成している。

中央：全国の小学生保護者2,097人へのアンケート調査結果。

右：「あすのば入学・新生活応援給付金」などを受給した全国の生活保護世帯・住民税非課税世帯等の保護者への調査結果。

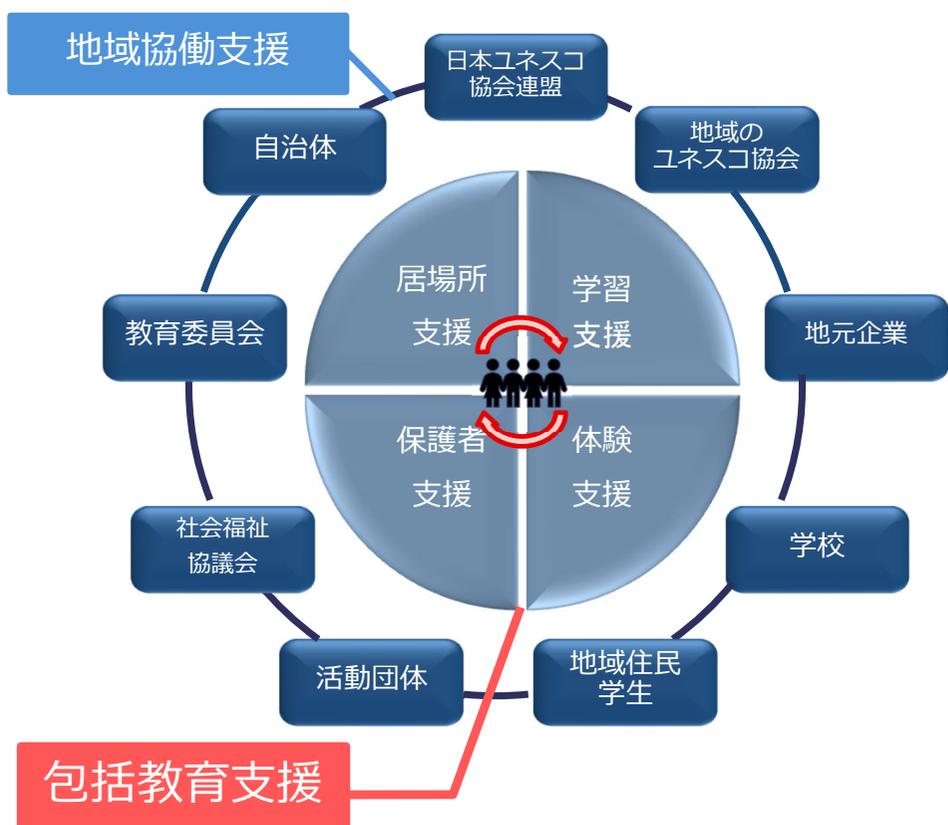
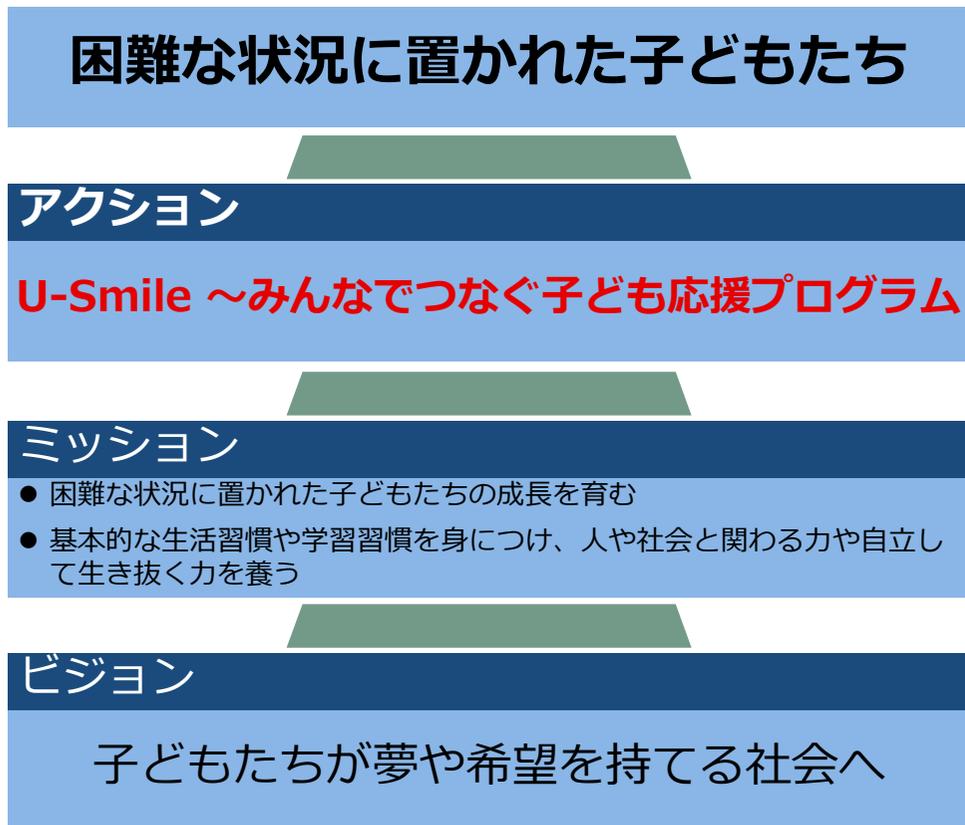
## 2. (7) つながりの重要性

- ◆ 家庭が経済的に豊かでなくても、保護者の学歴が高くないと、  
**子どもを取り巻く家庭・学校・地域での人間関係が豊かなものになってい  
 れば、子どもの学力は、かなりの程度高いものとなる可能性が強い**



# 3. “U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム” (1) U-Smileプログラムの理念とアプローチ方法

- ◆ 日本ユネスコ協会連盟は、2022年6月より「地域協働型包括教育支援」（テストラン）を始動
- ◆ 2023年4月より新事業として、「地域協働型包括教育支援事業」を開始
- ◆ 本プログラムの名称は、**U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～**（略称 **U-Smileプログラム**）



### 3. (2) 地域協働型包括教育支援の体制

#### 地域協働支援

	日本ユネスコ協会連盟	地域のユネスコ協会・クラブ	自治体	教育委員会	活動団体	社会福祉協議会	経済団体	地元企業・団体	地域住民・学生
1. 全体企画・ネットワーク作り・コーディネート									
2-1アウトレーチ活動(対象者の発見と利用促進)									
2-2. プリッジング活動(専門機関の紹介・連携)									
3. 居場所支援(生活習慣形成支援等)									
居場所支援拠点の設置・運営									
子ども食堂の運営									
子どもと遊び、相談、指導、見守り活動									
4. 学習支援(含む学習習慣形成支援)									
学習支援拠点の設置・運営									
子どもへの学習指導(個別・少人数)									
5. 体験支援～子どもの成長を促す各種イベント									
スポーツイベント/キャンプ									
自然体験/社会見学/郷土学習/地域行事等									
6. 保護者支援									
7. 資金集め(ファンドレイジング)									
8. 広報活動									
9. 事業の効果検証									
10. 事業の他地域への横展開									

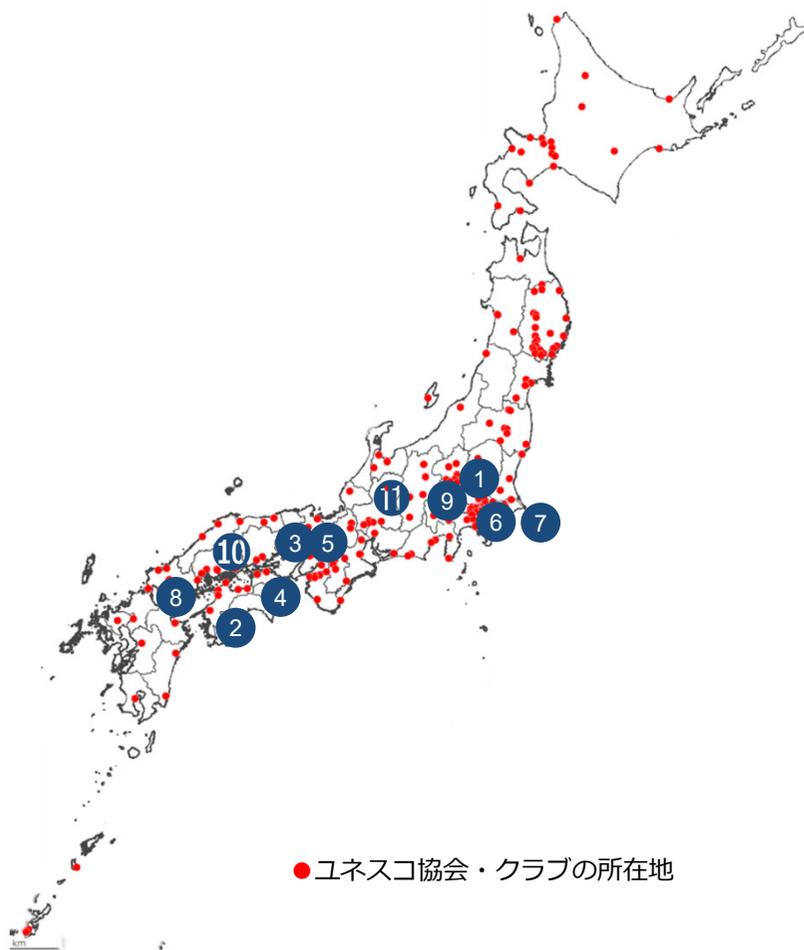
一つ一つの取り組みが縦糸、横糸となって織り込まれ、誰一人取り残さない、大きく、きめ細かな布(セーフティネット)として地域の子どもたちを包み込む、そのような協働のつながりを見える化し、促進する。

- ◎ : 取り組み主体
- : 取り組みサポート・協働・ボランティア
- △ : 関係先・情報共有先

各担い手の役割を調整し推進していく

包括教育支援

# 4. U-Smileプログラムの展開



## U-Smileプログラム展開中並びに計画中の地域

- ① 群馬県前橋市（維新隊ユネスコクラブ）
- ② 高知県高知市（高知ユネスコ協会）
- ③ 大阪府箕面市（箕面ユネスコ協会）
- ④ 香川県高松市（高松ユネスコ協会）
- ⑤ 京都府京都市（京都ユネスコ協会）
- ⑥ 千葉県八千代市（八千代ユネスコ協会）
- ⑦ **[2025年度開始]** 千葉県成田市（成田ユネスコ協会）
- ⑧ 山口県宇部市（連携協定並びに宇部ユネスコ協会）
- ⑨ 埼玉県蓮田市（蓮田・白岡地方ユネスコ協会）
- ⑩ 岡山県真庭市（津山ユネスコ協会）
- ⑪ **[2025年度開始]** 富山県富山市（富山ユネスコ協会）

### ステップ方式

個々の地域ユ協等の活動を起点として、順次他の担い手と連携拡大

### 包括方式

全体フォーメーションを決めてチームビルドし、包括的に事業展開

### フォーラム・シンポジウムの開催

- ◆ ふくいユネスコフォーラム（22.10.15 ふくいユ協）
- ◆ 高知ユネスコ教育シンポジウム（25.2.23高知ユ協）
- ◆ 成田子どもどもんなかフォーラム（25.2.24 成田ユ協）

## 5. (1) 2024年度の活動実績

## [ステップ方式]

### ① 前橋市～維新隊ユネスコクラブ（助成金事業）

#### 食事付無料学習塾 ステップアップ塾

- 〔対象〕 家庭の事情で一般的な塾に通えない小4～中3
- 〔頻度〕 毎週土曜日
- 〔開催〕 対面指導（原則、マンツーマンで指導）。  
オンライン授業（遠隔地からも指導可能）
- 〔講師〕 高校生・大学生・社会人のボランティア
- 〔食事〕 ボランティアスタッフが調理し提供
- 〔塾料〕 無料（保護者の年収によっては有料となる場合もある）

- 子ども登録人数9名、延べ参加人数290名
- ボランティア登録人数33名、延べ参加人数325名
- 自習室の登録人数54名、延べ利用者746名
- 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ31名  
（子19・引率12/講師ボランティアを含）



対面授業



食事



主催者と講師の打ち合せ

### ② 高知市～高知ユネスコ協会（助成金事業）

#### 食事付無料学習塾 ステップアップ塾

- 〔対象〕 家庭の事情で一般的な塾に通えない小4～中3
- 〔頻度〕 毎週土曜日
- 〔開催〕 対面指導（原則、マンツーマンで指導）。  
オンライン授業（遠隔地からも指導可能）
- 〔講師〕 高校生・大学生・社会人のボランティア
- 〔食事〕 ボランティアスタッフが調理し提供
- 〔塾料〕 無料（保護者の年収によっては有料となる場合もある）

- 開催回数38回/生徒数16名(定員20)
- 自習室開催175回/自習室登録32名
- 講師登録70名/食事ボランティア5名
- 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ32名  
（子21・引率16/講師ボランティアを含）



対面学習



対面学習



食事

## 5. (1) 2024年度の活動実績

## [ステップ方式]

### ③ 箕面市～箕面ユネスコ協会（助成金事業）

#### 無料学習支援 てらこやち

※特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝との連携事業

- 〔対象〕 経済的貧困などの課題を抱えた萱野小学校区の小1～中3
- 〔頻度〕 毎週水、木、金の17時18時、または、18時19時の2コマ
- 〔方法〕 対面指導（原則、マンツーマンで指導）
- 〔講師〕 大学生、退職教員のボランティア
- 〔塾料〕 無料
- 〔食事〕 週1回、地域のこども食堂を訪問（連携）

- 子ども登録人数17名、延べ参加人数608名
- ボランティア登録人数9名、延べ参加人数294名
- 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ34人（子23・引率11/講師ボランティアを含）



学習支援



学習支援



こども食堂を訪問

### ④ 高松市～高松ユネスコ協会（助成金事業）

#### ユネスコ寺子屋サロン&感動体験

- 〔対象〕 経済的貧困などの課題を抱える小中高生
- 〔頻度〕 毎週日曜日10時～12時
- 〔方法〕 対面指導（講師1人に生徒2人まで）
- 〔講師〕 元教員、元塾講師、高専生、高松ユネスコ協会会員
- 〔塾料〕 無料

- 2024年度から、月1回開催から、毎週開催へ頻度増
- 子ども登録人数7名、延べ参加人数67名
- ボランティア登録人10名、延べ参加人数45名
- 屋島自然体験学習ツアー参加者35名（子20・大15）  
※特定非営利活動法人ゆうゆうクラブとの連携事業
- 体験旅行（沖縄3月）参加者延べ6人（子4・引2）



学習支援



学習支援



学習支援

# 5. (1) 2024年度の活動実績 [ステップ方式]

## ⑤ 京都市～京都ユネスコ協会（助成金事業）

### 京都ユネスコこどもスマイル 学習支援事業+こども食堂事業

#### ①こども食堂プロジェクト

- 月1回 第3土曜日 16:00～18:00
- 学習支援活動を一体的に行う。ひとり親家庭や不登校の子ども、ヤングケアラーなど多様な要因で居場所のない子どもたちを対象とし、食を通じて子どもたちの居場所づくりを実現。
- 開催回数11回。各回平均59名（子ども30名・大人29名）
- 府立植物園での野外子ども食堂開催や農協から頂いた「バケツで稲作り」のキットを活用してお米の食育など実施

#### ②学習支援プロジェクト：

- 学習支援回数11回
- 月1回、日曜日に、不登校の児童・生徒等を対象に、総合的芸術的アプローチの教育経験を有する指導者を招いてクラスを開催
- 生徒数5名。講師3名
- 「旅の学校2024」も開催



こども食堂



#### 旅の学校2024

■日時：2024年8月22日（木）～23日（金）

■滞在先：奈良県吉野郡川上村 <匠の聚>

■内容：<匠の聚（むら）>で宿泊し、そこにアトリエをもつ京都ユネスコ協会の岸上ゆかり理事のワークショップや近隣の自然・文化の体験学習

■参加者：宿泊参加：子ども12名、保護者5名、引率講師1名、スタッフ3名 計21名

・日帰り参加：22日：子ども4名、保護者3名／23日：スタッフ1名（木村） 計8名



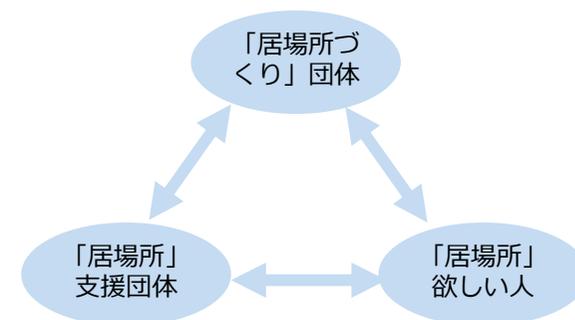
日本画の絵具づくりワークショップ

# 5. (1) 2024年度の活動実績 [ステップ方式]

## ⑥ 八千代市～八千代ユネスコ協会 (助成金事業)

### こどもの居場所支援ネットワーク事業

- 八千代ユネスコ協会が主体となって、市内のこども食堂・こどもの居場所の提供者・支援者のネットワークづくりを推進。
- 「OKAMURA SDGs BASE」を設置 (地元企業 (株)オカムラホーム提供)。『地域の居場所 (ホーム) を地域 みんなで』をコンセプトに、地域の皆さん、こどもたちが自由に使える、集える、コミュニティスペース。
- 地元の支援団体と連携を開始。
  - 「一般社団法人コパン」運営  
中高生カフェ開催回数 46回  
利用者数 各回 約30名
  - 「一般社団法人はこぶね」運営  
若者たちの居場所 ともカフェ開催回数 230回  
利用者数 各回 約5名
  - 八千代ユ協運営 (蓮田ユ協と協働)  
SMBC お金の授業+キッズニア東京体験  
「コパン」「ふらっとホーム」「ゆめそろ」の子ども  
計16名訪問 (引率ボランティア7名)



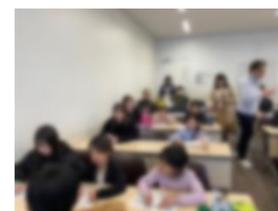
OKAMURA SDGs BASE



1階 中高生カフェ



2階 ともカフェ 会場



SMBC お金の授業



キッズニア東京



ソフトクリーム屋さん体験

# 5. (1) 2024年度の活動実績 [ステップ方式]

## ⑦ 成田市～成田ユネスコ協会（助成金事業）

### 2024年度の活動実績

#### フォーラムの開催

#### 「成田 こども どもんなかフォーラム」

- テーマ：「こどもの『ために』」からこどもと『ともに』～心の声を聴く、子どもアドボカシー～
- 日時：2025/2/24
- 会場：公津の杜コミュニティセンター
- 参加者：一般市民、教育関係者  
約150名



### 2025年度の新規計画

#### 「特定非営利活動法人フリースクールリフレルーム」との連携事業

※成田こどもどもんなかフォーラムをきっかけとした連携事業

- 沿革：2024年10月から週2日、コミュニティセンターを利用して不登校の中学生を対象としたフリースクールを開設。
- 開催：月～金10:00～14:30 登録生徒：11名
- スタッフ：学習サポーター：5名（元教員）  
大学生サポーター：13名（順天堂大学、国際医療福祉大学等）  
カウンセラー：1名 毎週木曜日、生徒だけでなく保護者の相談にも応じる
- 授業内容：午前と午後いずれも1時間目は自学。2時間目はフリータイムで交流活動やボードゲーム等を行う。
- 連携：
  - ・各学校の校長判断により、リフレルーム登校日は出席扱い
  - ・代表者は元中学校校長。在籍していた成田市玉造中学校はユネスコスクール。
  - ・成田ユネスコ協会は運営委員として連携。適時フリースクールに赴き 実施状況の確認を行う。
  - ・成田ユネスコ協会が長年行っている、外国人向けの国際交流活動（茶道・華道・着付け体験等）に、フリースクールの子どもたちも参加予定。



協力企業のオフィス2階が会場



自学



フリータイムサポーターとカードゲーム

# 5. (2) 2024年度の活動実績 [包括方式]

## ⑧ 宇部市～連携事業

### ① 連携協定の締結

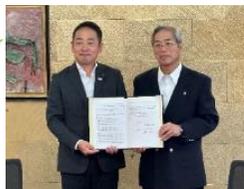
2023年9月28日、宇部市と日本ユネスコ協会連盟は、困難を抱える子どもに対する持続的な地域協働型包括教育支援の推進を図ることを目的に、連携協定を締結。

### ② 官民連携によるフォーメーションの整備

「子ども未来共創ワーキングチーム」を組成。

開催状況

- 第3回 2024年4月22日
- 第4回 2024年6月27日
- 第5回 2024年9月30日
- 第6回 2025年1月30日



左：篠崎宇部市長  
右：鈴木理事長

### ③ 2024年度の活動

困難な状況に置かれた子どもたちの体験格差を埋めるべく、体験支援活動を実施。地域の協力も得て、11回の体験イベントを開催し、延べ227名の子どもたちが参加。

## 2024年度 体験支援活動

	開催日	イベント名	プログラム メイン提供者	実施期間 その他	参加者数	対象
1	5/19(日)	こどもワンダーピクニック ときわ公園・動物園	学生団体ウベカレ	終日・昼食付	28名	ひとり親世帯の 小2～3
2	8/3(土) 午前	市長室見学会	宇部市役所	午前	親子3組(世帯) 5名	ひとり親世帯の 小2～3
3	8/3(土)夜	わくわくツアー レノファ山口FC サッカー観戦 (UBE冠マッチ・宇部市ホームタウンデー)	UBE	午後・夕食付 応援グッズ付	19名	就学援助、ひとり親 世帯の中～高生
4	8/8(木)～ 9(金)	夏休み体験旅行 (福岡バスツアー)	日ユ協連	1泊2日	25名(含引 率)	母子支援団体の小 3～高校生
5	8/22(木)	ファーストリテイリング 職場訪問 & 職業体験	ファーストリテイリング	終日・昼食付 お買い物体験付	9名	ひとり親世帯の 高校生
6	10/14 (月・祝)	わくわくDAYキャンプ (宇部市の既存事業の拡大)	日ユ協連	終日・昼食付	親子15組 (世帯) 40名	ひとり親世帯の 3歳～小4
7	11/4 (月・振休)	プログラミング教室 in 宇部	認定NPO法人 キッズドア	午前・午後の2回 キット付	19名	ひとり親世帯の 小4～小6
8	12/7(土)	わくわくクッキング クリスマスケーキを作ろう	三菱UFJ銀行 宇部支店	午前・試食付	12名	ひとり親世帯の 小4～小6
9	1/18(土)	JAL 空のお仕事見学ツアー 山口宇部空港	日本航空	午前・お土産付	5名	生活保護世帯、就学 支援世帯、ひとり親世 帯の小6・中1～2
10	3/16(日)	山口パッツファイブ バスケットボール観戦	山口銀行 宇部支店	午後・おやつ付 応援グッズ付	14世帯50名 (うち小学生 21名)	宇部市内の小学生 がいる世帯
11	3/27(木) ～29(金)	春休み体験旅行(沖縄)	日ユ協連	2泊3日	15名(含む 引率)	母子支援団体の小 ～中～高
12					延べ227名	

# 5. (2) 2024年度の活動実績 [包括方式]

## ⑧ 宇部市～連携事業

### 地域協働支援

包括教育支援

山口県宇部市	日本ユネスコ協会連盟 (U-Smileチーム)	宇部ユネスコ協会	自治体 宇部市 こども未来部	教育委員会 宇部市 教育委員会	活動団体				社会福祉協議会 宇部市 社会福祉協議会	経済団体 宇部商工 会議所	企業 宇部日報社、 ファーストテイルグ、 日本航空、 UBE、 西中国信用金庫	学校等 山口大学、宇 部フロンティア 大学・短期大 学部	地域住民・ 学生	
	ワーキングチーム/連携ネットワーク													
1.プログラムの全体企画 ネットワーク作り コーディネート	オリシネート WTチーム事務局	連携協定												
2-1アウトリーチ活動 (対象者発見と利用促進) 2-2.ブリッジング活動 (専門機関の紹介・連携)		地域の一角としての 気づき・発見	連携	連携									気づき・発見→連携	
3.居場所支援 (生活習慣形成支援等)		見守り支援 ボランティア	若者みりスペース 学習保育クラブ	放課後子ども教室	加 盟 団 体 へ の 情 報 発 信	め で 部 集 ま れ ！ 宇 部 っ 子 プ ロ ジ ェ ク ト			学 童 保 育 ク ラ ブ ※ 2	加 盟 企 業 へ の 情 報 発 信	見守り支援 ボランティア 講師ボランティア	学 生 の ボ ラ ン テ ィ ア 派 遣	ボ ラ ン テ ィ ア 参 加	
4.学習支援 (含む学習習慣形成支援)		講師ボランティア	学習支援事業 マナビバ	信・ 学 校 へ の 情 報 推 進						地 元 へ の 情 報 発 信	体 験 機 会 の 提 供 自 社 施 設 - イ ベ ン ト へ の 招 待 、 等			
5.体験支援 ～子どもの成長を促す各種イベント	企画・コーディネート・推進					ウ ヘ カ レ 体 験 支 援	実 行 団 体	実 行 団 体	実 行 団 体					
6.保護者支援	コーディネート・推進		支援事業の実施・推進 ひとり親家庭支援											
7.資金集め (ファンドレイジング)	U-Smile助成 (助成金の原資 の調達)		ふるさと納税等 の仕組み	土曜日教育活動事業		自 己 資 金 の 調 達 U- S m i l e 助 成 金					寄 付 金 等			
8.広報活動	全体の情報発信	自身の活動の 情報発信	自身の活動の 情報発信	自身の活動の 情報発信	自身の活動の 情報発信	自身の活動の 情報発信				自 身 の 活 動 の 情 報 発 信	自 身 の 活 動 の 情 報 発 信	自 身 の 活 動 の 情 報 発 信	自 身 の 活 動 の 情 報 発 信	自 身 の 活 動 の 情 報 発 信
9.事業の効果検証	全体の効果検証													
10.事業の他地域への横展開														

※1 株式会社UBE COL (ウヘカレ/学生により起業)。宇部市と「若者による未来共創」に関する包括的連携協定を締結  
 ※2 宇部市からの事業委託

取組主体      取組サポート・協働      情報共有先

# 5. (2) 2024年度の活動実績 [包括方式]

## ⑨ 蓮田市～蓮田・白岡地方ユネスコ協会 (助成金事業)

### U-スイミー～みんなでつくるこども・若者の居場所～

- 子どもたちが、人との関わりや繋がりにより、心の安定を保てる居場所をつくる。携わる人たちも楽しみ、子ども・若者の活躍の場・輪も広げる。
- ボランティア活動の活性化、感動体験、保護者支援も実施。

#### ① 「U-スイミー」 ～みんなでつくるこども・若者の居場所～

##### ■ 開催日と内容

毎週月曜日、蓮田市西口行政センター会議室にて、小学生～高校生を対象に、「あそび場・しゃべり場」、「まなび場」、「ときどきクッキング」、「Reborn作戦」(寄付された絵本の翻訳等)を開催

##### ■ 対象者の募集

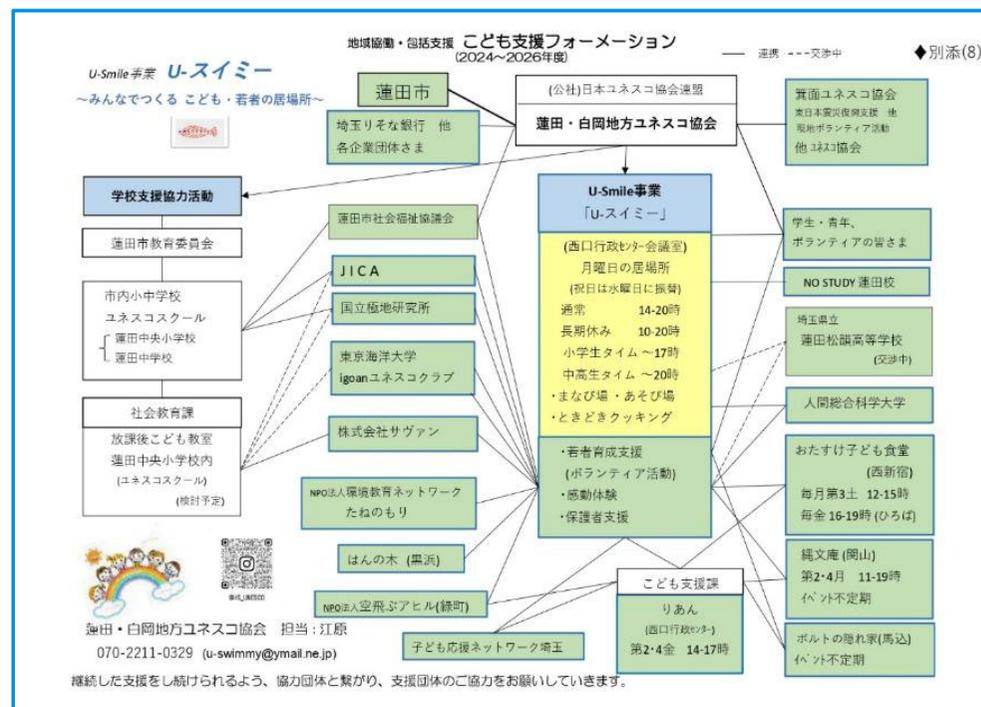
公共施設や市内の小中学校へのチラシ配布、居場所実施団体、教育委員会、蓮田市子ども支援課、社会福祉協議会等を通じて募集

#### ② 感動体験

- 子どもの登録人数67名、延べ参加人数240名
- ボランティア登録人数23名、延べ参加人数161名
- 感動体験2回開催 参加者116名 (子60・大56)
- SMBC お金の授業+キッズニア東京体験16名 (子12・大4) ※八千代ユ協と協働



東京海洋大との連携ワークショップ



## 5. (2) 2024年度の活動実績 [包括方式]

### ⑩ 真庭市～津山ユネスコ協会(助成金事業)

#### おちあい おむすび ぷろぐらむ (学習支援+食事支援+居場所支援+体験支援)

〔学習支援〕 毎週水曜日18～20時、小・中学生が対象  
 〔居場所支援〕 休日や長期休暇に、小・中学生を対象に、茶道教室、料理教室、図画工作教室、野菜の収穫体験等、学校生活だけではできない活動を行う  
 〔食事支援〕 毎週土曜日、子どもから大人まで幅広く利用し、交流できる場を提供。長期休みには、居場所の活動に合わせて昼食提供

- 子ども登録人数85名、学習支援参加人数延べ850名
- ボランティア登録人43名、延べ参加人数145名
- 居場所支援延べ238名、食事支援延べ870名(大人も含む)
- 広島平和学習ツアー32名(子22・大10)
- 体験旅行(3月沖縄)3名(子2・大1)

<運営代表委員会>  
 代表1名、副代表1名・各チーム代表3名・事務局2名  
 学習支援チーム 講師6名  
 居場所づくりチーム 10名  
 食事支援チーム 23名

<当日スタッフ> 10名程度  
 学習支援2名  
 食事支援6名  
 居場所支援2名

【2025年6月18日 視察時の様子】



真庭市落合振興局(行政)との意見交換会



親しみやすいアイコン



会場内



プリント学習の返却



小学生への指導  
(漢字・算数等)



中学生への指導  
(英語)

## 5. (3) 2025年度から新規開始 [包括方式]

### ⑪ 富山市～富山ユネスコ協会(助成金事業)

#### [2025年度から新規開始] ユネスコ寺子屋 in 神通峡

中山間地域にある学校区におけるこども支援。ひとり親、共働き家庭の子どもは放課後1人で過ごすこととなり学習支援の機会がなく、部活の地域移行により体験機会もない状況。地域のこどもたちが困難な状況に陥っている。

#### 1. 学期中

- 〔開催日〕 平日の放課後 (15:45～16:45)  
〔場 所〕 富山市立神通碧小学校 (生徒数38人)  
富山市立榆原中学校 (生徒数24人)  
併設校舎の音楽室・体育館  
※いずれの学校もユネスコスクール  
〔対 象〕 小学4～6年生・中学1～3年生 (最大25名)  
〔内 容〕 月・火・木・金曜日は学習支援  
水曜日は体験支援 (スポーツやプログラミング等)

【2025年5月26日 開講式の様子】



寺子屋開催場所  
小中移設校舎



神通峡地域  
右建物が開講式会場の公民館



小学生による合唱

#### 2. 長期休み中

- 〔開催日〕 週1回、9時～15時  
〔場 所〕 公民館  
〔内 容〕 学習・昼食を含めた居場所として開室



学習講師紹介



昼食会



モルック：チームで作戦会議

#### 3. その他

富山ユネスコ協会が行う「ユネスコ教室」や地域の子ども支援グループが行う「カムカム教室」とも連携して、子どもたちと保護者の体験の場を広げていく。

## 7. ご支援いただいている皆さま

寄附、ボランティア活動、広告宣伝、プロボノ、後援、ご助言などの様々なかたちで、ご支援を頂いています

- アイング株式会社
- ANAホールディングス株式会社
- 金融庁包摂ラボ
- クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業
- 一般社団法人全国銀行協会
- 株式会社ジェーシービー
- スカパーJSAT株式会社
- 株式会社ファーストリテイリング
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- 株式会社宮商
- 野村ホールディングス株式会社
- 個人・法人のみなさま

### 《こども未来共創ワーキングチーム》

- 宇部フロンティア大学・短期大学部
- 宇部市
- 学生団体Ube col（宇部カレ）
- 学生団体めで部
- 宇部市社会福祉協議会
- 宇部商工会議所
- 株式会社宇部日報社
- 宇部ユネスコ協会
- 一般社団法人キッズラップ
- 市民活動センター「青空」
- 西中国信用金庫
- 日本航空株式会社
- 株式会社ファーストリテイリング
- 特定非営利活動法人山口女性サポートネットワーク
- 国立大学法人山口大学
- U B E 株式会社

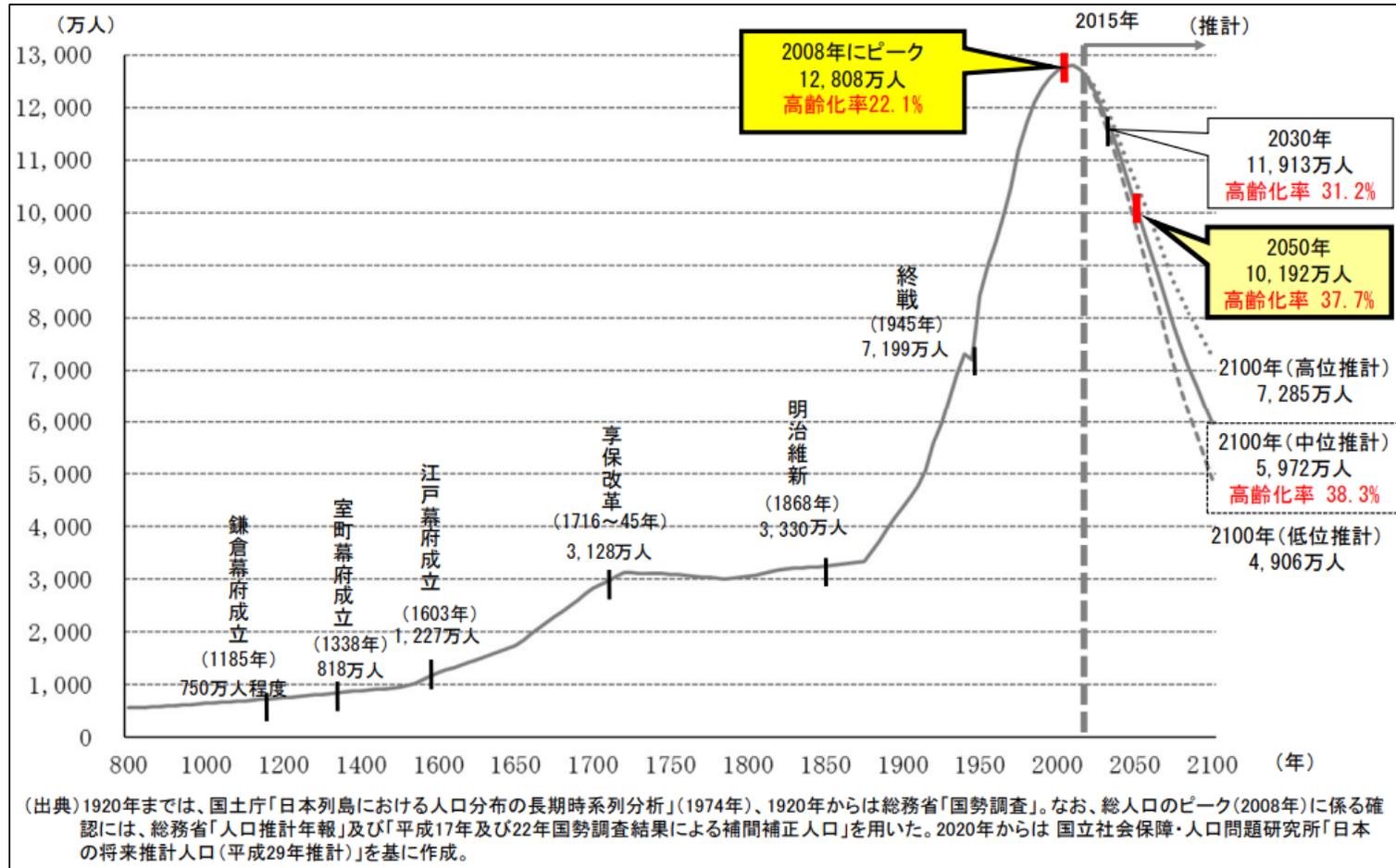
### 《宇部プログラム》 （五十音順）

- 宇部工業株式会社
- 国際ソロプチミスト宇部
- 筑紫女学園大学
- スカパーJSAT株式会社
- 西日本自動車学校
- 三菱UFJ銀行宇部支店
- 山口産業株式会社
- ユーピーアール株式会社

## 8. U-Smileプログラム 部会メンバー（アドバイザーボード）

- 大西 良 筑紫女学園大学人間科学部人間科学科心理・社会福祉専攻 准教授  
福岡県出身。博士（保健福祉学）、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師。子どもの貧困問題や睡眠をテーマに研究活動をおこなう。またスクールカウンセラーとしての実務経験がある。大学では、児童・家庭福祉論やスクールソーシャルワーカーの養成などを担当。また、社会福祉専攻の学生と一緒に子ども食堂や、夜の公園に居場所を求める子どもの話を聞く取り組みなど、様々な活動が行われている。シングルマザーとその子どもを支援する「シンママ福岡応援団」 代表も務める。
- 牧 貞夫 元 NTT都市開発株式会社 相談役  
元 日本ユネスコ協会連盟 理事  
日本電信電話公社入社。NTTコミュニケーションズ株式会社で取締役第一法人営業本部長、常務取締役グローバル事業本部長などの要職を歴任し、代表取締役副社長に就任。その後、NTT都市開発株式会社代表取締役社長、相談役を歴任。
- 渡辺 由美子 認定NPO法人キッズドア 理事長  
一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表理事。  
千葉大学出身。大手百貨店、出版社を経て、フリーランスのマーケティングプランナーとして活躍。配偶者の転勤に伴い一年間イギリスに移住し、「社会全体で子どもを育てる」ことを体験する。2007年任意団体キッズドアを立ち上げ、2009年内閣府の認証を受けて特定非営利活動法人キッズドアを設立。日本の全ての子どもが夢と希望を持てる社会を目指し、活動を広げている。
- 望月 浩明 東海大学甲府高等学校 非常勤講師、かながわIネットスクールネットワーク（KAN） アドバイザー  
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事
- 鈴木 佑司 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長（法政大学 名誉教授）
- 小山田 隆 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事（株式会社三菱UFJ銀行特別顧問）

# Appendix 1 総人口の長期的推移



出典：2021年（令和3年）6月「国土の長期展望」最終とりまとめ - 国土交通省  
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001412278.pdf>

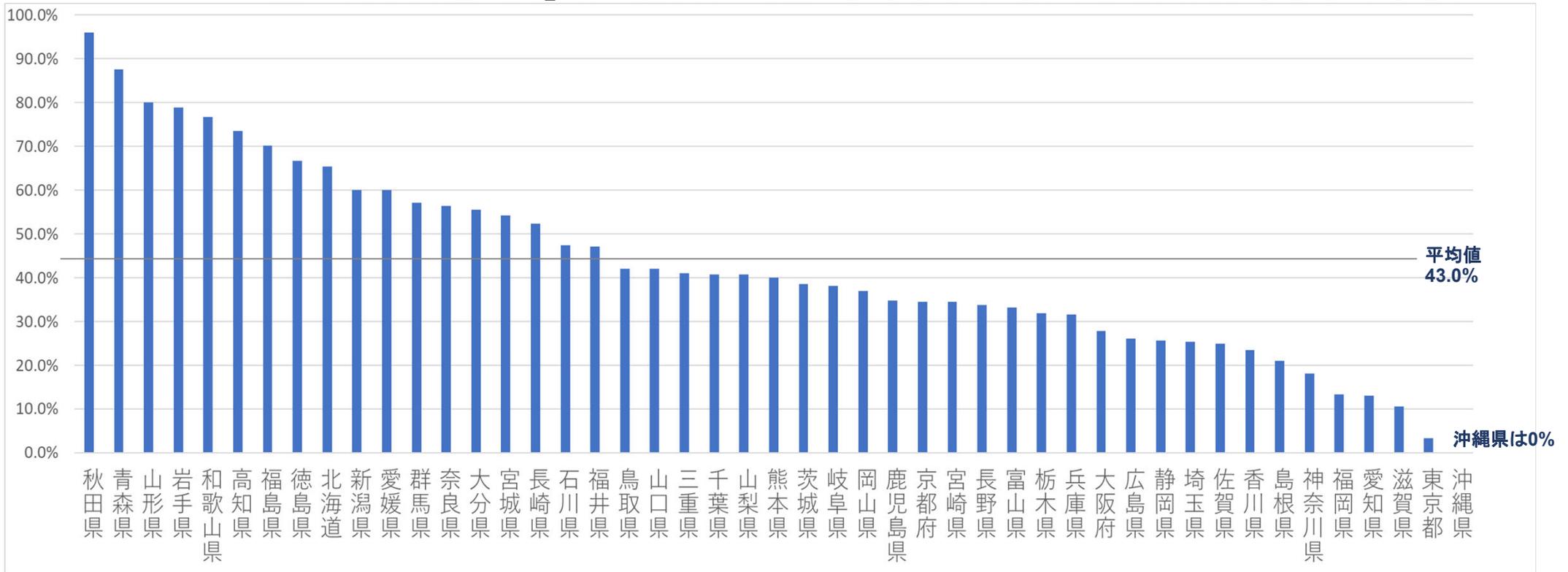
## Appendix 2 消滅可能性都市

◆ 「消滅可能性都市」は、全1,729都市のうち、744都市と約半数（2024年4月公表データ）。

- 消滅可能性都市

2020年から2050年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村。

「20～39歳の若年女性人口」が5割以下に減少してしまうと、人口が維持できなくなる。





## ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト



# 1. ユネスコスクールとは

★正式名称：ASPnet (Associated Schools Network)

★概要：

ユネスコの理念を学校現場で実践するために昭和28（1953）年に発足した、**国際的なネットワーク**。加盟校同士が活発に**交流**し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展が目指されている。日本では、ASPnetへの加盟が承認された学校を、「**ユネスコスクール**」と呼んでいる。

★加盟校に求められること

- ① 「ユネスコスクールガイドライン」等を踏まえた各学校の積極的な活動
- ② ユネスコやその関係機関・団体が行う様々な活動への参加
- ③ 日本ユネスコ国内委員会（文部科学省）への年次活動報告書の提出
- ④ **活動内容の発信や国内外の学校との活発な交流**をおこなうこと
- ⑤ 国連が定める「国際デー」を記念する活動を毎年少なくとも2回は実施する

出典 <https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339976.htm>

## 2. (1) ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクトについて

### 1. 基本情報

#### (1) 概要

「持続可能な開発目標(SDGs)」の掲げる諸目標達成にむけ、ユネスコスクールが取り組む「持続可能な開発のための教育(ESD)」の活動費用を助成する。

#### (2) 主催団体等

主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

協力：株式会社三菱UFJ銀行

後援：日本ユネスコ国内委員会

#### (3) 基本データ

募集開始：2009年 ⇒ 助成開始2010年 ※2025年度は第16期（2024年度募集、2025年度助成）

累計助成校数：1,367校

累計助成金額：134,328,291円

#### (4) 募集枠

	第17期（2025年度募集）以降の募集枠（予定）
10万円枠	各学校の特色を生かした活動に対する助成。
20万円枠（新規）	海外の学校との交流する場合/離島などにあり、国内の学校との交流にも多額の交通費がかかる場合
グループ枠（新規）	複数の学校が協働で活動するケースが対象。1校につき上限10万円。

## 2. (2) ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクトについて

### 2. 近年の傾向

(1) 校種区分（第13期（2022年度助成）～第16期（2025年度助成）の直近データ）

	助成校総数	校種区分						校種別				
		幼保	小学校	中学校※1	高校※2	特別支援学校	その他	計	公立校	国立校	私立校	計
第13期	78	0	47	15	13	1	2	78	70	3	5	78
第14期	83	2	52	11	12	1	5	83	71	1	11	83
第15期	78	2	39	15	17	1	4	78	64	2	12	78
第16期	74	2	35	12	19	2	4	74	57	3	14	74

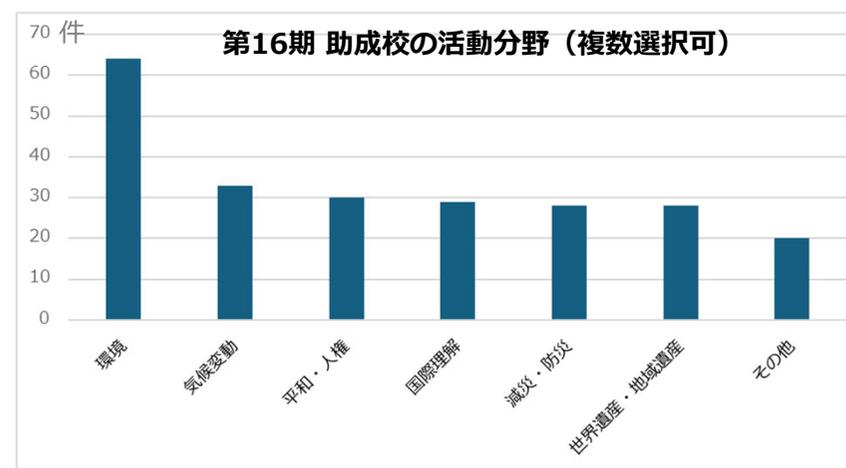
※1: 小中一貫校を含む ※2: 中高一貫校を含む

- 小学校（ほぼ全て公立）の数が減少している一方、中高一貫校を含む高等学校への助成が増加している。統廃合や教員不足などの学校現場における課題が、小学校で発生していることも要因か。

(2) 主な活動分野（第16期の助成校74校の活動分野）

- 環境をテーマにした活動を行う学校が圧倒的に多い。
- 数年前までは、地域学習と関連した「世界遺産・地域学習」が環境の次に多かったが、ウクライナやガザの情勢、異常気象などの昨今の重要な課題が影響したのか、「気候変動」や「平和・人権」、「国際理解」に関連した活動を行う学校が増加している。

※高等学校の増加によりテーマの変化に影響しているとも考えらる。



## 3. (1) 優良事例紹介

### 1. 大牟田市立宮原中学校

概要：認知症の取組発祥の町と呼ばれる校区にあり、また、学校のすぐ近くには世界文化遺産の「三池炭鉱宮原坑・専用鉄道敷跡」という地域の宝に恵まれた特色を生かした活動を展開。その際に、幼稚園・小学校・高等学校・特別支援学校と協働・交流を重視することで、視野を広げ活動の充実を目指す。

目的：認知症SOS模擬訓練への参加、高齢者宅への訪問、宮原坑を題材にした防災学習などを通して、誰もが安心して住むことができるまちづくりを考える。

成果：① 地域の行事に積極的に参加する生徒が増えた。また、運営に関わり、「~のようにしてはどうでしょうか。」と提案する生徒も見られるようになった。  
② 1年生の活動でプレゼンコンクールを行ったところ、多くの生徒が友人の発表に刺激を受け、授業中の集中力や発言の回数が増すなど通常の学習活動にも変化が見られた。



特別支援学校の生徒と一緒に  
行事の準備を行う様子



高齢者宅に訪問して  
絵手紙を渡し交流する様子

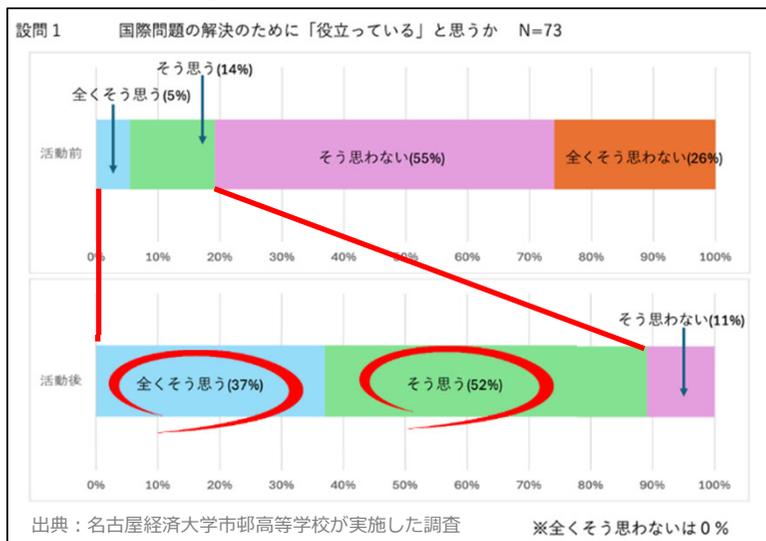
### 3. (2) 優良事例紹介

#### 2. 名古屋経済大学市邨高等学校

概要：国内外（海外は台湾、韓国）の学校とパートナーシップ協定を結び、難民や貧困地域の人を支援している企業・NPOの専門家との交流、学習会を行う。シリア難民の女性の経済的自立を応援するためのフェアトレード活動やカンボジアの小学校に遊具を届けるための活動を行う。

目的：交流や学習会、チャリティ活動を通して、社会情勢を自分事として捉えるとともに、難民や貧困地域の人々に寄り添い、伴走することの大切さを理解し、現地の人たちが求めている支援は何かを共に考え行動する。

成果：活動の前後で生徒たちの意識に大きな変化が見られた。活動によって生徒たちの自己肯定感や自己有用感が高まったと考えられる。



綿菓子のチャリティ販売の様子

# Appendix 1 ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクトのホームページ



<https://www.unesco.or.jp/sdgs-assist/>

ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクトの助成金申請の募集要項をはじめ、助成金を活用した事例紹介を掲載。

(現在30以上の事例を紹介)

掲載メニュー



# Appendix 2 ホームページ掲載の事例紹介①

幼稚園



## 活動のねらい

- ①食の大切さに気がつく
  - ・野菜を育てる中で、野菜の成長に喜びを感じたり、愛着を抱いたりし、食べものを大切にする心を育む。
- ②世界の飢餓問題を知り、子ども達ができることを考える
  - ・日本が恵まれた環境であることを知り、世界の食生活を学ぶ。
  - ・募金活動を行う事で、子ども達が世界に目を向けることが出来るようになる。
- ③地域とのつながりを大切にする
  - ・子ども達の成長を支えて下さっている地域の方々に感謝の気持ちをもつ。

## 児童・生徒の変容

野菜がうまく育たなかったことをきっかけにし、本来捨てる生ごみを土づくりの堆肥にかえることができることを知った。今まで捨てていたものが再利用できたり、新しいものに変わったりする仕組みに気付く機会となった。また、実際に自分たちで野菜を販売することで、お金の仕組みを知る大切さを学ぶきっかけにもなった。そして、ピンクリボンの存在を知って「病気の人を助けたい」という思いやりの心が育まれた。

## 学習成果発表の様子



郵便局に行って代表の園児たちが振り込みをしている様子



その様子をジンバルを使用して中継を見ている園児たち

食から広がる地域との関わり～世界の子どもの存在・生命の大切さを知る～

認定こども園七松幼稚園 参加人数 3・4・5歳児 83人 /地域住民・保護者 約30人

助成活動期間 2023/4～2024/2

福県学習 国際理解平和・人権 幼稚園 10万円枠 兵庫県 【幼稚園】

# Appendix 2 ホームページ掲載の事例紹介②

小学校



地域丸ごとビオトープ「グレート・オモトープ」で学ぼう

気仙沼市立面瀬小学校 参加人数 266

助成活動期間 2021/4~2023/2

環境学習	小学生	気候変動	30万円枠
習い事	生活	総合的な学習の時間	

2 気候変動	7 気候変動と関係する持続可能な開発目標	8 働きがいも経済成長も	9 産業と資源効率の改善	11 気候変動に由来する災害のリスク低減	12 つくば未来	13 気候変動に由来する健康
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう				

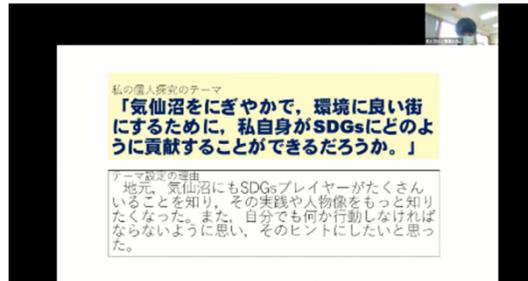
## 活動のねらい

面瀬地区は鳥や魚を中心に数多くの生き物が生息していることから、フィールド学習を通して生物多様性や食物連鎖、環境保全の思いを生徒にもたせる。  
上級生は専門家や地元で活躍する複数のSDGsプレーヤーから学び、それに基づき地球環境を考えた暮らしの実行例を考え、発表や意見交流をしていくことで、他者と関わる力、企画力、実行力を高める。

## 児童・生徒の変容

- ・ 中間発表では、「課題を自分事として捉えられているか。」「説明に説得力があるか。」などの視点を与えて質疑応答に取り組みさせたことで、インターネットで調べた知識だけでなく、五感を使って情報を集める大切さに気付くことができた。
- ・ 地域が抱える課題を解決しようとして行動している方々に直接会って話を聞いたり、施設を見学したりする活動をきっかけとして問題意識をもち、自分なりにできる方法を考えて地域の課題解決に向けて行動することができた。

## 学習成果発表の様子



2022年度アシストプロジェクト活動発表会にて、個人探究の内容を発表した。



他校の発表に対して感想や質問を行った。

# Appendix 2 ホームページ掲載の事例紹介③

中学校



地域と共に住み続けられる町づくりを考える

富山市立楡原中学校 参加人数 24人

活動活動期間 2022/5-2023/2

環境学習    SDGs全般    世界遺産・地域遺産学習    中学生

10万件    富山県    総合的な学習の時間

2 飢餓をゼロに  
3 気候変動に具体的な対策を  
10 人や国の不平等をなくす  
11 持続可能な都市づくり  
12 持続可能な消費と生産  
15 陸の豊かさを保ち増進  
16 平和と公正  
17 パートナーシップを世界に広げる

## 活動のねらい

世代を超えたコミュニケーションを通して、他者と協力し、つながりを重視する姿勢の育成とともに、地域の良さや課題を「自分事」として考えることを通じた実践力、想像力を育成する。

## 児童・生徒の変容

地域の課題と向き合い、自分事として捉えることを意識し、「地域清掃活動」などのボランティアにも自主的に参加するようになった。また、生徒会が中心となって「地域清掃活動」や「書き損じハガキの回収」などの取り組みを含めた年間を通してのSDGs活動を記録した「楡中SDGsパスポート」を掲示するなど、活動を「見える化」したことにより、多くの生徒が、SDGs活動を身近なものに感じるとともに、活動への意識を高めていった。

## 学習成果発表の様子



小中合同での学習発表会の様子①  
県内の中学校では唯一のユネスコスクールであり、SDGsを意識した行動の啓発など、楡原中学校の果たす役割は大きい。



小中合同での学習発表会の様子②  
学習発表会では小学生、保護者、地域住民にSDGsのゴールを達成するために自分たちができていることを伝えた。

富山市立楡原中学校は、2025年度から開始したU-Smileプログラム「ユネスコ寺子屋 in 神通峡」のエリアのユネスコスクール

照会先

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

教育支援部

E-mail : [kyoiku@unesco.or.jp](mailto:kyoiku@unesco.or.jp)

電話 : 03-5424-1121 (平日9 : 30~17 : 30)

本紙に掲載された写真は、許可を得て使用しています。

© 2025 National Federation of UNESCO Associations in JAPAN (NFUAJ)



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

# U-Smileプログラム（地域協働型包括教育支援事業の全体像と進捗状況）

2024.7.16現在

**U-Smileプログラム【地域協働型包括教育支援事業】 22年度テストラン 23年度～本格展開**

**【目的】** ①相対的貧困等の困難な状況に置かれた子どもたち（2百万人以上）の基本的な生活習慣、学習習慣の形成支援  
⇒人や社会と関わる力や自立して生き抜く力を養う  
②基礎学力を高め、意欲ある子どもたちへは大学進学を支援（未着手）

**【手法】** ①地域協働⇒地域の担い手（市町村・学校・NPO・企業・大学・住民等）が連携・協働して子どもたちを支える  
②包括教育⇒子どもの成長を一貫して見守り・支える（アウトリーチ・居場所支援（子ども食堂）・学習支援）  
③体験支援⇒体験格差を解消し、心にスイッチが入るような感動体験（含む体験旅行）を提供  
④保護者支援⇒困難な状況に置かれている保護者（ひとり親等）への情報提供、悩み事相談、コミュニティ形成等

**【役割】** ①日ユ協連の役割は4つ⇒(1)啓発、(2)推進(含む触媒)、(3)自走支援、(4)横展開  
②年間10前後の地域で事業展開、3～6年の支援期間・徐々に自走へ【⇒年間新規3～5地域/卒業3～5地域】  
③U-Smileプログラムのノウハウの蓄積とパートナーの育成、ノウハウ移転

**フォーラム・シンポジウムの開催**

- ◆ふくいユネスコフォーラム (22.10.15 ふくいユ協)
- ◆高知ユネスコ教育シンポジウム (25.2.23 高知ユ協)
- ◆成田子どもとまんなかフォーラム (25.2.24 成田ユ協)



- U-Smileプログラム展開中並びに計画中の地域**
- 群馬県前橋市（維新隊ユネスコクラブ）
  - 高知県高知市（高知ユネスコ協会）
  - 大阪府箕面市（箕面ユネスコ協会）
  - 香川県高松市（高松ユネスコ協会）
  - 京都府京都市（京都ユネスコ協会）
  - 千葉県八千代市（八千代ユネスコ協会）
  - [2025年度開始] 千葉県成田市（成田ユネスコ協会）
  - 山口県宇部市（連携協定並びに宇部ユネスコ協会）
  - 埼玉県蓮田市（蓮田・白岡地方ユネスコ協会）
  - 岡山県真庭市（津山ユネスコ協会）
  - [2025年度開始] 富山県富山市（富山ユネスコ協会）

**ステップ方式**

○ 個々の地域ユ協等の活動を起点として、順次他の担い手と連携拡大

**2024年度活動実績**

<p><b>前橋市（維新隊ユネスコクラブ）</b></p> <p>食事付き無料学習塾</p> <p>子ども登録人数9名、延べ参加人数290名 ボラティア登録人数33名、延べ参加人数325名 自習室の登録人数54名、延べ利用者746名 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ31名（子19・引率12/講師ボランティアを含む）</p>	<p><b>高松市（高松ユ協）</b></p> <p>ユネスコ寺子屋サロン&amp;感動体験</p> <p>子ども登録人数7名、延べ参加人数67名 ボラティア登録人数10名、延べ参加人数45名 屋島自然体験学習ツアー参加者35名（子20・大15） 体験旅行（沖縄3月）参加者延べ6人（子4・引2）</p> <p><small>※9月から月一回から週一回へ頻度増/実績は10月～</small></p>	<p><b>成田市（成田ユ協）</b></p> <p>2025年度から開始</p> <p>子どもの居場所となるフリースクール※ 週5日開室。毎週木曜日は保護者の相談にも応じる。フリースクールの代表者は、成田市内のユネスコスクールの元中学校長。運営委員として伴走支援、成田ユ協の活動にも子どもたちを招待。</p> <p><small>※特定非営利活動法人フリースクールリフォームとの連携事業 ※2025年2月開催の「成田子どもとまんなかフォーラム」をきっかけに連携が深まる</small></p>
<p><b>高知市（高知ユ協）</b></p> <p>食事付き無料学習塾</p> <p>開催回数38回/生徒数16名(定員20) 自習室開催175回/自習室登録32名、講師登録70名/食事ボランティア5名 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ32名（子21・引率16/講師ボランティアを含む）</p>	<p><b>京都市（京都ユ協）</b></p> <p>学習支援事業+子ども食堂事業</p> <p>学習支援開催回数11回/生徒数5名/講師3名 子ども食堂開催回数11回 各回平均59名（子ども30名・大人29名） 府立植物園での野外子ども食堂やお米の食育なども実施 公開講座(教育文化)開催20～50名</p>	
<p><b>箕面市（箕面ユ協）</b></p> <p>無料学習事業※（てらこやち）</p> <p>子ども登録人数17名、延べ参加人数608名 ボラティア登録人数9名、延べ参加人数294名 感動体験参加者 子ども17名 大人9名 体験旅行（福岡8月・沖縄3月）参加者延べ34人（子23・引率11/講師ボランティアを含む）</p> <p><small>※暮らしづくりネットワーク北芝との連携事業</small></p>	<p><b>八千代市（八千代ユ協）</b></p> <p>SDGs 子どもの居場所ネットワーク</p> <p>中高生カフェ開催数：46回 利用者数：30名/回 居場所ともカフェ開催数：230回・利用者数：5名/回 キッズニア東京へ招待23名（子16・大7）</p>	

**包括方式**

○ 全体フォーメーションを決めてチームビルドし、包括的に事業展開

**2024年度活動実績**

<p><b>宇部市（日ユ協連直轄事業）</b></p> <p>宇部市との連携協定(2023年9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓「こどもの未来共創WT」組成</li> <li>✓こども未来共創フォーラムの開催</li> <li>✓自走に向けた「宇部事務局」の設置</li> <li>✓年間体験プログラム策定・推進</li> </ul> <p>①5月ワンダービクニック(28名) ②8月市長室見学会(親子3組6名) ③8月レノファサッカー観戦(19名) ④8月福岡体験旅行(里親会等25名含む引率) ⑤8月ユニコロ職場訪問&amp;体験(9名) ⑥10月わくわくDAYイベント(親子15組40名) ⑦11月プログラミング教室(19名) ⑧12月クリスマスケーキ作り(12名) ⑨1月JAL空のお仕事見学(5名) ⑩3月パカパカド〜観戦(14世帯50名) ⑪3月沖縄体験旅行(15名含む引率) 合計 延べ227名参加 ①4月7-8日リトルファミリーデーへの招待(2組6名) ②6月ワンダービクニック(28名)</p>	<p><b>真庭市（津山ユ協）</b></p> <p>「おちあいおむすびぶろぐらむ」</p> <p>子ども登録人数85名、学習支援参加人数延べ850名 ボラティア登録人数43名、延べ参加人数145名 居場所支援延べ238名、食事支援延べ870名(大人も含む) 広島平和学習ツアー32名(子22・大10) 体験旅行(沖縄3月)参加者延べ3人(子2・引1)</p>
<p><b>富山市（富山ユ協）</b></p> <p>2025年度から開始</p> <p>ユネスコ寺子屋 in 神通峡</p> <p>学習支援・体験支援・長期休み中の居場所支援 ・学習支援:月火木金、小4～中3(最大25名)を対象に実施 ・体験支援:水、スポーツやプログラミング等 ・長期休み中:週1回、学習・昼食を含めた居場所を開室 ・富山ユ協が実施する「ユネスコ教室」や地域の子ども支援グループの活動とも連携</p>	
<p><b>蓮田市（蓮田・白岡地方ユ協）</b></p> <p>「U・S・I・M・I」～みんなでつくるこども・若者の居場所～</p> <p>子どもの登録人数67名、延べ参加人数240名 ボラティア登録人数23名、延べ参加人数161名 感動体験2回開催 参加者116名（子60・大56） キッズニア東京へ招待16名（子12・大4） 体験旅行（沖縄3月）参加者延べ2人（子1・引1）</p> <p><small>※8月から活動開始</small></p>	<p><b>立ち上げ検討</b></p> <p>盛岡市（盛岡ユ協） 仙台市（仙台ユ協） 豊島区（日ユ協連直轄事業）</p>